

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十九年五月度 入選句（投稿総数二千六百五十五句・小中学投句数二千八句）

### 特選

選者 高木 恵理

水まんじゅう食べながら見る大垣城 愛知県一宮市大橋 壮真(中三)

水まんじゅうは、大垣市の特産品です。清涼感あふれる水まんじゅう。こんこんと湧く水に浮かぶ美しい水まんじゅうが目に見えます。そこには平和な時間も流れているようです。そんなおいしい水まんじゅうをいただきながら、作者が見つめるのは、これまでの歴史を見守ってきた大垣城。長い時間の中で、繁栄も衰退も見守ってきたことでしょうか。松尾芭蕉さんもきっと見てきた大垣城。これから、作者はどんな歴史をききんでゆくのでしょうか。

こ年はねまえばでかめないかしわもち 大垣市 高木 研輔(小二)

五月五日はこどもの日。「端午の節句」とも呼ばれており、男の子の成長を祝います。こどもの日が近づくと、学校の給食でもかしわもちが出されますね。一口前歯でがぶりといきたいところですが、どうやら作者は、まだ乳歯が抜けたばかりです。口に入れたのはいいけれど、なかなかかみ切れません。仕方がないので、奥歯で一生懸命にもぐもぐと食べる様子が浮かんできます。こどもから大人への成長途中の「今」をよんだ俳句です。

チューリップかぜとくすくすわらってる 大垣市 木村 勁結(小四)

まっすぐにすくっと立ったチューリップ。コップの形の花びらが、風に小さくゆれているでしょう。この俳句をよんだ時、「おやゆび姫」という童話を思い出しました。さわやかな風にゆられながら、チューリップの中の小さな姫が、風に誘われ、風と遊んでいるようです。風と会話をしていられるかもしれませんね。耳を澄ますと声も聞こえてきそうです。チューリップを見て、「くすくすわらっている」と感じた作者の優しいまなざしが浮かんできます。

### 秀逸

たらいぶねちるはなびらにてをのぼし 大垣市 倉橋 史弥(小三)

汗かいてひたすら走る朝部活 美濃加茂市 金子 由奈(中三)

かぎぐるまずっと見てると目がまわる 大垣市 いたう そな(小二)

ちようちよさんはなにとまってけっこんだ 大垣市 うのう おとは(小二)

たんぼぼはみんなをあつめてわらってる 大垣市 高井 歩乃香(小四)

こどものひおやのてっだいがんばるぞ 大垣市 杉原 諒(小六)

さんねんめついにさいたよやえざくら 大垣市 いたう みさと(小三)

雨ふってさみしそうだねこいのぼり 大垣市 森 麻 亜子(小四)

もん白ちよういっしょにダンスしませんか 大垣市 國嶋 小春(小四)

おはようと見守ってるねなしの花 大垣市 森田 悠斗(小六)

入選

パチパチと拍手が絶えぬ入学式	美濃加茂市	伊藤	諒哉(中三)
せせらぎの音に混じりて蛍飛ぶ	美濃加茂市	岩永	正徳(中三)
つくしさんぐんぐんのびてうれしそう	大垣市	ひろせそう一ろう(小二)	
おみやげにつんでかえろうクローバー	大垣市	神村	奏多(小二)
つばめさんかわいいヒナのかおみせて	大垣市	大塚	彩友美(小二)
のきしたにしあわせはこぶつばめのす	大垣市	佐藤	駿(小二)
つばめの子ぼくのかぞくになかま入り	大垣市	し水	あつ生(小二)
兄弟でなかよく食べるかしわもち	大垣市	安田	智香(小四)
こいのぼりこどもとおとななかよしだ	大垣市	安田	遥菜(小五)
子どもの日いつまで子ども考える	大垣市	高田	伊織(小六)

入選

ていぼうでしゃがんでつくしとりぼうだい	大垣市	杉田	圭祐(小三)
とつぜんの雨かみなりにへそかくす	大垣市	大場	功喜(小三)
もこもこといろんなみどり山いっばい	大垣市	ふじわら	ゆら(小三)
つばめのすなかでこどもがないてるよ	大垣市	鈴木	香帆(小四)
母の日におてっだいけんプレゼント	大垣市	遠どう	らいか(小四)
にじむあせ目指すはゆう勝バットふる	大垣市	廣瀬	光雅(小四)
チューリップ見るとかならず歌っちゃう	大垣市	加藤	心羽(小四)
遠足のおやつをいつもなやみすぎ	大垣市	中村	しゅんと(小五)
レンゲの輪頭にのせればプリンセス	大垣市	奥田	真央(小五)
父さんととこやの帰り夏の雲	大垣市	傍島	倫(小六)

選者吟

三代で守る農家の袋掛け

恵理